

平成28年度施策評価シート(平成27年度実施事業)

施策名	農林業	施策コード 2-2-1	作成主管課	農政課
			関係課	農業委員会

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり
	小政策	豊かな恵みを実感できる農林業を振興します
現況と課題	<p>近年の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増大、米価の下落や輸入拡大による農産物の価格低迷に伴う農業所得の減少、TPPに参加した場合の農業への影響など、さまざまな課題がある一方で、世界的な食糧不足にある中では、成長産業という側面ももっています。</p> <p>本市は、豊かな田園環境を背景に稲作を中心として畜産や野菜、小菊をはじめとする花き類や栗等の果樹など、多彩な農業が営まれています。これまで、平成20年3月に策定した「笠間市農林業振興基本計画」に基づき農業基盤の整備による農村環境の保全や、耕作放棄地の再生支援、耕畜連携による飼料用稲生産・利用の推進、農産品のブランド認証(かさまの粋)による高付加価値化などの農業経営安定化策と環境保全型農業の推進、学校給食での地場農産物等の使用など消費拡大に向けた取り組みを展開してきました。</p> <p>今後は、生産者の高齢化、担い手不足等による農地の荒廃を防止するため、ほ場整備などを通じた優良農地の確保に努め、地域担い手の育成、農産物の付加価値化、市民の健康づくりや教育につなげる地産地消の推進などの販売戦略の強化と、農地・山林の環境保全及びこれらがもつ多面的機能の育成、活用を図っていく必要があります。</p> <p>また、風評被害などの危機管理対策の強化を図る必要があります。</p>	
施策目標	豊かな森林や田園環境を保全し、農林業・農村の多面的な機能を維持します。また、安定した農業経営の確立と地場農産物の消費拡大に向けて、生産環境の充実や経営基盤の強化に努め、従事者の高齢化に対応しながら、活力ある農林業の振興を推進します。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	・農産物のブランド化(例えば 栗)に更に力を入れて欲しい。
-------------	-------------------------------

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
自然と共生し活力ある農林業の振興が行なわれていると感じている市民の割合	市民実感度	28.120	30.320	28.310	26.760	28.690	0.000
	加重平均値	2.184	2.199	2.197	2.168	2.225	0.000
※※※※※※	市民実感度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	加重平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		87.290	87.550	85.930	88.320	0.000
	加重平均値		3.447	3.372	3.411	3.426	0.000

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
農産物のブランド化数	目標値	件		12	37	39	41	43
	実績値	件		10	35	38	38	0
	達成度	%		292	102.7	97.44	92.68	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
認定農業者数	目標値	人		141	133	133	133	133
	実績値	人		144	133	152	147	0
	達成度	%		94.326	100	114.29	110.52	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
農地集積面積	目標値	ha		315	320	330	340	350
	実績値	ha		307	307	404	537	0
	達成度	%		97.46	105.63	122.42	157.94	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0		0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0

数値指標の考え方	指標設定の考え方	農林業の振興を図るうえで、農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増大、農産物の価格低迷など多くの課題があります。これらの課題を解決するため、地域の核となる農業者の育成と合わせて農産物の高付加価値化を図るために必要な3つの事業を指標として設定した。
	目標値設定の考え方	・農産物のブランド化数については、市内に数多くある従来の農産物や加工品に加え新しい農産加工品等の開発を見据え、毎年2品目のブランド化を目標値とした。 ・認定農業者数については、農業従事者の高齢化や担い手不足等の現状を鑑み、現状維持を目標とした。

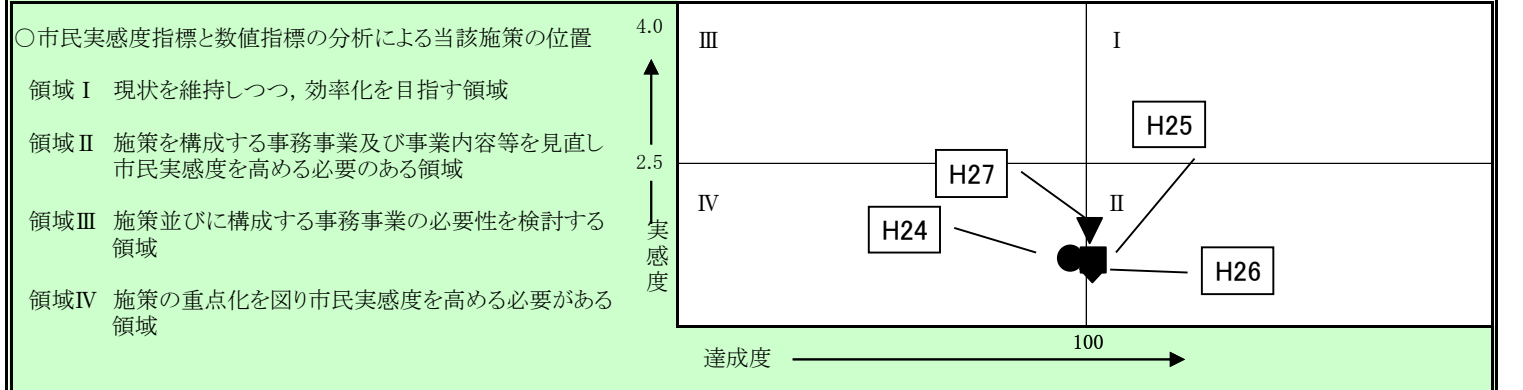
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 安全・安心な農産物の提供。 経営の改善と農地の利活用。 農林業者・農業関係団体等が自立し、自主的に農林業振興対策に取り組むこと。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 各種事務事業の迅速かつ正確な情報提供。 関係機関及び農業者等と連携した各種事業の展開。

3 平成27年度取組状況

取組状況等	<p>取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。</p> <p>関係機関との連携や農業者ニーズを的確に捉え、補助事業を有効活用し、農産物等の生産拡大や農林業施設整備を図ることができた。</p> <p>笠間アグリビジネスネットワーク協議会において、笠間野菜や郷土料理の創出などをはじめ、六次産業化やブランド化の推進を積極的に実施した。また、耕作放棄地解消・担い手への農地集積、担い手・営農団体育成、農産物販売・地域特産物の研究開発、農作業支援、グリーンツーリズム推進を行うために設立した、一般財団法人笠間市農業公社を支援した。</p>
-------	---

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	<p>指標を分析した結果施策目標は達成されたのか</p> <p>かさまの粋認証農産物の数は目標値まで達成してしていないが、農産物を使った加工品等の開発や企業との連携により、おおむね目標値となっている。しかし、ブランドとして考えた場合あくまでも認証数ではなく、消費者等に認められなくてはならないため、安易に認証することをさげ、真のブランド化を目指す。</p> <p>農地集積についても、農地中間管理機構と協力のもと上郷地区等の集積を図り目標値を上回った。</p>
-------	--

構成事務事業の適正性	<p>施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か</p> <p>「行政の役割」を担う事務事業として施策を構成する事務事業は適正である。</p>
------------	---

残された課題	<p>平成28年度以降に残る課題、その要因として考えられること。</p> <p>農業者の高齢化とともに増え続ける耕作放棄地の解消。 農業経営が成り立つ流通ルートの確保。 認定農業者や集落営農組織等の担い手づくり。</p>
--------	--

5 今後の方向性

取組方針	<p>平成29年度に向けた施策方針</p> <p>農地中間管理機構を活用し、耕作放棄地を含め、農地の集約化を図り、地域の担い手の育成を図る。 また、一般財団法人笠間市農業公社と連携し、農業施策を実施する。</p>
------	--

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策名 01 農林業

事業費合計	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3カ年計	3カ年平均
	649,788	715,290	782,535	2,147,613	715,871

No.	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
				成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
1	畜産業推進事業	広域にまん延する口蹄疫等の予防対策並びに疾病の特性又は浸潤状況から、組織的な対応が必要な疾病の流行防止対策を推進し、危機管理体制を含む地域自衛防疫体制の一層の充実を図る。	101 義務的事業	家畜伝染病発生数	件	0	0	0	県補助	254	3,847	180	01 安定した農林業の推進	農政課	義務的事業
2	農業災害調査事業	豪雨・降雪等天災により農作物が被害を受けた場合に被害調査を実施し、関係機関への被害状況報告等迅速に対応を行う。	101 義務的事業	農業者及び関係機関の連携	回	9	5	3	市単独	0	0	0	01 安定した農林業の推進	農政課	義務的事業
3	林業振興事業	笠間市森林整備計画区域 8,784haにおける森林機能の維持、整備や森林所有者への技術指導等を行う森林組合への補助及び子供たちの自然愛護活動に対する補助を行う。	106 政策的事業	伐採届出面積	ha	17	16	14	市単独	239	1,227	889	01 安定した農林業の推進	農政課	10
4	農業委員会運営・事務局事業	農地の売買、転用等の受付、現地確認、定例総会での許可の決定及び県への諮問、許可書の発行	101 義務的事業	申請件数	件	310	310	0	県補助	5,664	5,683	1,406	01 安定した農林業の推進	農業委員会事務局	義務的事業
5	会長関連事務・視察研修等事業	農業委員に対する、研修により基本的な知識を養い、変化する農業行政に対応し地域農業の発展に寄与する。	101 義務的事業	農業委員の研修参加延べ	名	120	120	0	市単独	335	335	1,196	01 安定した農林業の推進	農業委員会事務局	義務的事業
6	農業者年金事業	農業者年金は、旧制度、新制度の両制度が運営され、旧制度については年金受給申請、経営移譲年金受給に対する事前説明、受給者死亡に対する手続き通知の発送を行う。また、新制度については、加入推進、来庁者への制度説明、両年金待機者への事前説明を行う。農業者年金基金法に基づき各種届出書の受理、審査を行い、独立行政法人農業者年金基金に送付する。	101 義務的事業	年金加入者	人	28	24	0	国補助	1,081	1,081	238	01 安定した農林業の推進	農業委員会事務局	義務的事業
7	(廃止)農業集落排水事業特別会計繰出金事務	集落排水事業特別会計への一般会計からの繰出金。	101 義務的事業			0	0	0	市単独	293,991	284,076	284,710	03 健康増進の生産・生活環境づくり	下水道課	義務的事業
8	農業競争力強化基盤整備事業(北川根地区)(TPP関連)		102 建設・整備事業			0	0	0		0	0	11,250	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	8
9	農業競争力強化基盤整備事業(市原地区)(TPP関連)		102 建設・整備事業			0	0	0		0	0	5,000	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	8
10	霞ヶ浦用水事業(臨時)(TPP関連)		102 建設・整備事業			0	0	0		0	0	264	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	12
11	堂ノ池整備事業(繰越)	エコフロンティアかさま設置に伴う地域振興及び環境保全等に関する協定書の規定に基づき、地区にある「堂ノ池」を地域振興の拠点及び防災機能を有した公園を整備する。	102 建設・整備事業	整備率	%	0	0	0		0	0	16,652	02 自然と共生による農林業の展開	環境保全課	
12	林業専用道整備モデル事業(岡の宿八田線)(繰越)	林業専用道を開設することにより、これまでアクセスが困難だった地区での森林整備及び、間伐材をはじめとする林産物の利用促進を図る。	102 建設・整備事業	整備延長	m	0	0	250	国・県補助	0	0	5,646	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	2
13	霞ヶ浦用水事業(臨時)	霞ヶ浦用水を取水し、農業生産性の向上と農業経営の安定化に資するものである。当市では、本戸地区と友部地区を受益地とし安定的な用水確保を進めている。現在は不動谷津池に着水し、26年度末に北川根地区まで県営管工事が完了した。また、団体営管についても整備計画に基づき工事が行われている。	102 建設・整備事業	用水管理設工事	m	0	0	0	市単独	0	0	25,854	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	12
14	市単土地改良事業	市内の農業施設等で老朽化が進んでいる施設の維持管理を図る。土地改良事業等の再整備事業認可を受けることも困難な状況の中にあつては、安全対策に対する対応として必要不可欠な事業である。	102 建設・整備事業	整備完了地区	箇所	4	4	11	市単独	2,164	2,297	5,889	01 安定した農林業の推進	農政課	8

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価		
				成果指標①	単位	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成25年度				平成26年度	平成27年度
15	農業競争力強化基盤整備事業(北川根地区)	北川根地区は、基盤整備が行われ一区画あたり平均20a程度となつてはいるが、井戸水源の流量が安定せず、更には用水路の老朽化も進みつつある。霞ヶ浦用水が不動谷津池に着水したことに伴い、本用水を利用した用水系統の再整備を行い、農業生産の拡大と機械化による効率化を図り、営農の合理化と安定化を目標とした豊かな農村集落を建設するものである。	102 建設・整備事業	整備進捗率(北川根地区)	%	5	20	50	国・県補助	3,000	12,451	15,914	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	8
16	農山漁村地域整備交付金事業(市原地区)	霞ヶ浦用水事業の受益地である友部土地改良区の用排水施設(用水路のパイプライン化)や農道等の整備に併せて、農業生産の担い手の育成・確保と、担い手への農地集積を行う。	102 建設・整備事業	整備進捗率(市原地区)	%	0	0	0	国・県補助	0	0	260	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	8
17	県営畑地帯総合整備事業(小原地区)	畑総小原地区は、一部谷津田状の水田を含む畑地帯である。水田は、県営ほ場整備事業大原地区として整備済であるが、本地域は未整備であり農道は狭小で屈曲が多く用排水施設は貧弱で圃場形状は小さく、営農に多大な労力を費やしている。農地集積については、事業完了時(平成28年度)までに100%を目標とする。	102 建設・整備事業	整備進捗率	%	98	99	99	国・県補助	6,000	3,000	3,780	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	5
18	県単土地改良事業(農道)	国補事業以外の土地改良事業を対象として補助を行い、国補事業と均衡を図りながら農業生産基盤の整備並びに農村の環境整備を推進し、農業の振興に資する。	102 建設・整備事業	整備完了路線	路線	0	4	0	県補助	0	19,006	0	01 安定した農林業の推進	農政課	6
19	農山漁村活性化プロジェクト交付金事業(大古山地区)	本地区の圃場形状は、谷津田状に細長く展開する水田地帯であり、未整備で道路幅も狭く小区画・不整形であるため、大型の農業機械の導入に支障をきたし、農作業等に多大な労力を費やしている。また、農業就業者の高齢化、兼業化、後継者不足など深刻な状況であり、さらには用排水路が未整備なため、夕立や少量の雨量でも田が冠水する状況である。	102 建設・整備事業	整備進捗率	%	36	94	95	国・県補助	82,954	92,629	10,160	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	4
20	農村振興総合整備事業(友部地区)	本事業は当初、友部地区において地域住民参加のもと、農道、ため池、排水路等の整備計画が策定された。この整備計画に基づく整備により、地区農村の景観保全・復元を図る。また、美しいむらづくりを行うことで生産性の高い明るい農村づくりを目指す。	102 建設・整備事業	整備進捗率	%	97	97	100	国・県補助	3,258	1,254	4,725	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	5
21	経営体育成基盤整備事業(滝川地区)	国道50号線の北側と一部の南側の谷津田状に拓けた水田地帯である。農地整備水準が低く、農業近代化が遅れている状況であり、土質も粘土質であり排水が不良である、また、作業道路幅員が狭小で農作業機械の運行にも支障をきたしている。このことから地元要望が出され、事業を行っている。排水不良箇所が多いため湧水処理への対応が必要不可欠である。	102 建設・整備事業	整備進捗率	%	97	98	99	国・県補助	8,012	1,012	3,275	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	5
22	経営体育成基盤整備事業(箱田中央地区)	当地区は山間谷津田で区画が狭く、排水も悪く大型機械の導入も困難で農道も未整備である。また、農振農用地区域の優良農地で、賃貸借、農作業受委託による流動化も近年増加している状況である。地元地区からも事業要望がされ、事業地区の設定を行った。現在、整地工事が完了に近づいている。河川については護岸がされていないため長雨に対する法崩壊箇所への対応が必要である。	102 建設・整備事業	整備進捗率	%	99	99	100	国・県補助	5,010	5,010	560	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	5
23	経営体育成基盤整備事業(友部地区)	友部小原地区は土地の形状は大区画ではあるが、一級河川濁沼前川の河川流量が安定せず、更には用水路の老朽化も進みつつある。霞ヶ浦用水が不動谷津池に着水したことに伴い、本用水を利用した用水系統の再整備を行い、農業生産の拡大と機械化による効率化を図り、営農の合理化と安定化を目標とした豊かな農村集落を建設するものである。また友部中央地区、随分附地区についても事業採択に向け順次進めている。	102 建設・整備事業	整備進捗率(友部小原地区)	%	57	79	80	国・県補助	22,151	15,181	8,280	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	7
24	霞ヶ浦用水事業(経常)	霞ヶ浦用水事業は、霞ヶ浦の揚水機場から筑波山を通過して、各受益地(12市町)へ配水する施設を造る事業で、地域の要請に即した多面的な土地利用・機械力の導入などを可能にし、農業生産性の向上と農業経営の安定化に資するものである。なお、当市では、本戸地区と友部地区を受益地とし安定的な用水確保を進めている。現在は不動谷津池(小原)に着水し、北川根地区の一部(仁古田)まで管敷設工事が完了している。	102 建設・整備事業	用水管の埋設工事(県営管)	m	1,000	1,182	800	市単独	32,869	30,474	1,420	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	12
25	笠間市人・農地プラン策定事業	力強い農業構造を実現していくためには、集落・地域での徹底的な話し合いにより、地域農業のあり方について議論を進め、地域農業を担う経営体や生産基盤となる農地を、将来においても確保していくプランが必要となる。地域の中心となる経営体の確保や、地域の中心となる経営体への農地集積に必要な取組を支援する。	104 計画策定事務	中心となる経営体数	件	20	36	77	国補助	161	141	65	01 安定した農林業の推進	農政課	3
26	(H28から)笠間市農林業振興基本計画策定事業		104 計画策定事務			0	0	0	市単独	0	0	0	01 安定した農林業の推進	農政課	
27	林道維持管理事業	既設林道の維持管理を行う。路線数 16路線 延長 31.3km	105 維持管理事業	総延長に対する整備延長(舗装済)	km	21	21	22	県補助	3,692	2,787	2,269	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	10
28	県単林道改良事業(今泉吾国線林道)	林道今泉吾国線について、既設横断溝の老朽化やグレーチングの盗難などにより通行に支障をきたしており、固定型の横断溝に改築し安全な通行を確保する。総事業量 L=117.5m 25箇所	105 維持管理事業	改良箇所	箇所	5	5	9	県補助	2,678	3,024	6,135	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	10

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
				成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
29	市単林道改良事業(金谷小池線)	林道金谷小池線について、現碎石路で整備されているが、大雨の度に碎石が流れ通行に支障をきたしているため、舗装路として整備し安全な通行を確保する。総事業量 L=186.5m W=5.0m	105 維持管理事業	改良延長	m	0	187	0	市単独	0	4,622	0	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	10
30	市単林道改良事業(朝霜線)	林道朝霜線について、現碎石路で整備されているが、大雨の度に碎石が流れ通行に支障をきたしているため、舗装路として整備し安全な通行を確保する。総事業量 L=820m W4.0m うち 舗装L=631.2m H26 L=327m, H27 L=304.2m	105 維持管理事業	改良延長	m	0	327	304	市単独	0	3,942	3,888	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	10
31	農地災害復旧事業	震災や自然災害により被災した公共性のある施設について、災害復旧を行う。	105 維持管理事業	復旧完了地区	地区	0	0	0	市単独	1	1	1	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	8
32	農道維持管理事業	土地改良事業により整備された農道を整備、維持管理することで、生活用道路や農作業用道路としての機能を確保することで、地域の安全、農作業の効率化を図る。路線数 510路線 延長 93,368m	105 維持管理事業	要望に対する実施率	%	100	100	100	市単独	15,891	8,862	4,491	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	6
33	震災対策農業水利施設整備事業	東日本大震災では、東北地方を中心に農業水利施設が被災し、ため池の決壊により農用地や農業施設はもとより、地域住民の生命、財産、公共施設にも甚大な被害が発生した。笠間市小原に位置する不動谷津池は、昭和52年に造成され、貯水量が222㎡の農業用ため池である。東日本大震災により近接水路の一部が被災しており、ため池機能には支障ないものの堤体の一部は劣化しており、決壊すれば人家等への被害も想定されるため、早急に耐震調査及びハザードマップの作成を行う必要がある。	105 維持管理事業	調査完了地区	地区	0	1	0	国補助	0	6,955	0	01 安定した農林業の推進	農政課	3
34	使用済農業用プラスチック適正処理対策事業	使用済農業用プラスチックは、産業廃棄物として適正に処理することが義務付けられている。処理にかかる農家負担の軽減を図り使用済農業用プラスチックの円滑な回収を推進し、施設園芸の経営安定と農村環境の保全を図るために本事業を実施する。	106 政策的事業	処理量	トン	9	7	10	市単独	172	159	212	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	12
35	土づくり運動推進事業	農業の持つ物質循環機能を生かし生産性との調和に留意しながら、土づくりを通じて化学肥料、農薬の削減を図ることにより環境負荷の軽減に配慮した環境保全型農業を推進する。	106 政策的事業	たい肥散布面積	ha	20	20	27	市単独	63	598	632	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	5
36	環境保全型農業直接支援対策事業	地球温暖化防止や生物多様性保全のため環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者を拡大することを目指すと共に支援する。	106 政策的事業	環境保全型農業の実施面積	㎡	130,200	144,700	198,800	国・県補助	351	431	1,266	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	7
37	新規就農総合支援事業	新規参入者及び農業後継者の確保を目指し、国補事業の活用及び市の上乗せ補助を行い、農業後継者等の育成を図り、地域農業の担い手の定着化を推進する	106 政策的事業			0	0	0	国補助	6,000	6,000	8,250	01 安定した農林業の推進	農政課	6
38	農業公社運営事業	笠間市の耕地の約19%に当たる760haが耕作放棄地となっている。原因としては採算性の低さや耕作者の高齢化が考えられるが、これらの課題の解消に向けて農作業の支援や地域特産物の開発・販売、また平成26年度に設置される農地中間管理機構から委託される業務を実施する。	106 政策的事業	地域集積協力金	a	0	0	19,237	市単独	1,201	13,583	18,446	01 安定した農林業の推進	農政課	7
39	系統農業災害資金(降雹等)利子助成事業	平成24年5月4日の大雨、5月6日の降雹・突風、並びに5月10日の降雹による被災農業者の農業経営の早急な立ち直りを支援するため、経営再開にあたっての負担軽減措置として、農業系統融資機関から借入れた利子の助成を行う事業。	106 政策的事業	利子助成人数	人	6	6	6	市単独	30	22	15	01 安定した農林業の推進	農政課	11
40	石岡台地用水事業	昭和27年用水事業計画が制定され、その後38年に「石岡台地土地改良事業推進協議会」、43年には「石岡台地土地改良区」が設立、45年から国営石岡台地農業水利事業に着手、平成元年に国営事業が完了した。現在は、関係7市町村は、これまでの国営かんがい排水事業の負担金及び基幹農業用水施設の維持管理費を分担して支出している。受益面積6市1町 6933.4ha 市内受益地 556.7ha	106 政策的事業			0	0	0	市単独	24,622	24,362	25,012	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	12
41	多面的機能支払交付金事業	本来、農業・農村は国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能を有しており、その利益は多くの市民が享受している。しかし、近年の農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、その適切な保全管理が困難となっている状況にある。このため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進し、担い手農家への農地集積と構造改革を後押ししていくことを目的とした事業である。当初は「農地・水保全管理支払交付金」として平成19年度より5年間、地区環境の良好な保全と質的向上を図る地域共同の組織作りへの支援として事業が開始された。平成23年度終了を予定していたが、今後も必要な事業として平成24年度より第2期対策が開始された。平成26年度より、交付内容の組替、創設があり「多面的機能支払交付金」として新規スタートした。	106 政策的事業	活動面積	ha	782	1,135	1,119	国・県補助	9,275	14,928	71,570	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	6

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
				成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
42	土地改良推進事業	土地改良事業の推進を図るため、関係機関との連絡調整など総合的な事務を行う。また、市内の公共性のある農業施設等で改修が必要な維持管理工事に対し、工事費の2分の1(限度額50万円)を補助し、農地及び農業用施設の適正な維持管理を図る。土地改良事業で整備された施設についても老朽化が進んでおり、再整備事業認可を受けることも困難な状況の中にあつては、地元要望に対する対応策として必要不可欠な助成事業である。	106 政策的事業	改修完了地区	地区	7	15	16	市単独	6,520	5,347	4,713	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	8
43	笠間市農産品ブランド化推進運営事業	市内で生産される安全・安心な優れた農産品を、消費者に支持・信頼される「ブランド農産品」として認証することに取り組むとともに、併せて地域農業・産業の活性化及び発展を図る。	106 政策的事業	「かさまの粹」述べ認証品数	品	38	38	39	市単独	0	0	0	01 安定した農林業の推進	農政課	2
44	鳥獣被害防止総合支援事業	深刻な状況にある野生鳥獣による農作物被害に対して、農業者、関係機関が連携し被害軽減を図るための対策を講ずる。	106 政策的事業	被害面積	a	1,350	1,463	1,332	国補助	1,564	10,027	11,027	01 安定した農林業の推進	農政課	6
45	笠間市飼料稲利用組合運営事務	国の戦略作物の1つである飼料用稲の生産拡大にあたり、耕種農家と酪農をはじめとする畜産農家との調整を行い稲発酵粗飼料の利用増進と耕畜連携による資源循環型農業を進める。	106 政策的事業	飼料用稲生産取組者数	件	8	8	0	市単独	0	0	0	01 安定した農林業の推進	農政課	6
46	笠間市酪農連絡協議会運営事務	酪農経営の振興と改良発展を促進させ、生産性の高い効率的農家経営の育成を図り、農家所得の向上と経営の安定、合理化と合わせて会員相互の親睦を図る。	106 政策的事業	牛乳消費拡大運動対象者	名	1,700	0	0	市単独	0	0	0	01 安定した農林業の推進	農政課	11
47	主要農産物総合支援事業	県補助事業等における事業実施主体負担分を軽減するため、補助対象経費の1/2に県補助金等が満たない場合は、その差額を予算の範囲内で市が補助し、個人負担を1/2にするものである。背景として、県補助事業等において、事業主が個人、団体等で補助率が変わるものがあり、補助率が下がる事業主が、事業に取り組めない状況にあった。事業主が、区分に関係なく積極的に事業に取り組むことを可能にすることで、農業再生基盤の確立に資する。	106 政策的事業	補助金交付額	千円	2,073	1,044	4,831	市単独	2,073	1,044	2,631	01 安定した農林業の推進	農政課	2
48	農地集積協力事業	地域内農地の集積に協力するため、一定割合以上の農地を農地中間管理機構に農地を貸し付け、地域農地の集積に協力する地域に対し協力金を交付する事業。	106 政策的事業			0	0	0	国補助	0	597	69,960	01 安定した農林業の推進	農政課	7
49	農業経営基盤強化資金利子助成事業	効率的かつ安定的な農業経営体を育成し、これらの経営体が農業生産の相当部分を担うような農業構造の確立を図るため、日本政策金融公庫資金から借り入れた認定農業者に利子助成金の交付を行う事業。	106 政策的事業	利子助成人数	人	12	10	11	県補助	1,077	886	719	01 安定した農林業の推進	農政課	10
50	中山間地域等直接支払事業	耕作に不利な中山間地域の耕作放棄地発生防止など、農業生産活動が持続できるよう集落において共同活動に継続支援する。	106 政策的事業	協定参加面積	m ²	205,487	205,487	205,522	国・県補助	1,644	1,644	1,645	01 安定した農林業の推進	農政課	10
51	認定農業者育成推進資金利子助成事業	効率的かつ安定的な農業経営体を育成し、これらの経営体が農業生産の相当部分を担うような農業構造の確立を図るため、常陸農業協同組合において農業近代化資金を借り入れた認定農業者に対し利子助成金の交付を行う事業。	106 政策的事業	利子助成人数	人	2	2	2	県補助	57	43	29	01 安定した農林業の推進	農政課	9
52	農業近代化資金利子助成事業	効率的かつ安定的な農業経営体を育成し、これらの経営体が農業生産の相当部分を担うような農業構造の確立を図るため、常陸農業協同組合において農業近代化資金を借り入れた農業者に対し1%以内の利子助成金の交付を行う事業。	106 政策的事業	利子助成人数	人	2	3	1	市単独	103	81	67	01 安定した農林業の推進	農政課	9
53	いばらきの園芸産地改革支援事業	既存産地の強化・拡大や新産地の育成、地域の花き産地のモデルとなる先進的な技術の実証を行うため、機械・施設等の整備を行う。	106 政策的事業	農産物販売出荷額	円	4,300,000	105,616,899	177,440,557	県補助	2,940	0	1,627	01 安定した農林業の推進	農政課	5
54	農業政策推進事業	笠間市農林業振興基本計画を基本とした農業施策を効率的かつ効果的に推進するため、笠間市内の関係機関や関係団体とも連携し、事業の推進を図る。	106 政策的事業	研修会の参加者数	人	0	50	50	市単独	0	4,074	3,777	01 安定した農林業の推進	農政課	1
55	地場産農産物PR事業(緊急)(繰越)	「笠間ブランド」の確立や「地産地消」など、本市の特性・優位性を活かした農業の振興を積極的に推進するため、ブランド農産品の推進や地場農産物の広報宣伝活動を実施する。	106 政策的事業	イベント来場者数	人	17,030	18,000	35,000	市単独	2,292	6,783	10,578	01 安定した農林業の推進	農政課	1

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価	
			成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
56	地場農産物振興拡大事業	消費者等が地場農産物に対する関心を高めるため、学校給食への取組みや料理教室等を開催し、地産地消の推進を図る。また、農産物の加工や新たな商品開発など6次産業化やアグリビジネスに取組み農業経営の安定化を図る。	106 政策的事業	料理教室受講生数(1回当たり平均)	人	15	15	12	市単独	214	683	338	01 安定した農林業の推進	農政課	4
57	担い手対策強化促進事業	認定農業者や集落営農組織の育成・支援のために、自らが行う経営改善活動に対する支援措置や市内農業後継者が農業大学校や県内外の先進農家において農業経営・技術を習得するための助成措置により、活力ある農業者を育成し、笠間市農業の発展を図る。新規就農者定着事業(市単「新規」)、青年就農給付金事業(市上乗せ)、営農研修等受講料助成事業(市単「新規」)、農業後継者・長期研修助成補助金、農業機械・生産施設更新整備事業及び農業者雇用支援事業については、笠間市の農業を担う者の育成及び確保並びにその定住の促進を図ることを目的として支援を図る。	106 政策的事業	助成対象者	人	24	7	13		4,331	2,337	5,700	01 安定した農林業の推進	農政課	5
58	主要農産物生産振興支援事業	主要農産物である栗及び梨の生産振興を図るため、生産組織等が行う新規栽培者の育成、確保や樹園等の植栽、管理等の取組みに対し経費の一部を支援することで、産地としての生産体制強化を図る。	106 政策的事業	交付対象栗苗数	本	10,797	10,129	9,529	市単独	1,950	2,085	1,852	01 安定した農林業の推進	農政課	8
59	食と農のチャレンジ事業	近年劇的に変化している農業をめぐる情勢に対応し、新たな取組にチャレンジしようという生産現場の意欲をより一層喚起するため、農業以外の人々の意見も積極的に取り入れながら、農業者や農業関係者が主体となって企画する創意工夫ある新たな取組みを支援する。	106 政策的事業	補助事業利用者数	名	3	4	2	県補助	2,629	3,220	2,860	01 安定した農林業の推進	農政課	7
60	水田農業推進事業	米の需給調整を図ることにより、米価の安定や米需給の均衡を図るとともに、戦略作物(麦、大豆、飼料作物など)への転作を推進し、農業経営の安定を図る。	106 政策的事業	生産調整達成率	%	94	95	102	市単独	38,787	44,670	44,810	01 安定した農林業の推進	農政課	3
61	農産振興条件整備支援事業	(新規需要米普及拡大条件整備型) 市町村に新規需要米普及拡大推進協議会を設置し、水田の有効利用を前提として地域における供給体制の確立に向けた「新規需要米普及拡大計画」を策定した協議会に参画する団体等に対し、新規需要米(飼料用米、米粉用米、WCS)の作付拡大に必要とされる集荷施設の改修や機械設備等に助成する。	106 政策的事業	飼料用米取扱面積	ha	6	3	284	県補助	2,428	941	2,200	01 安定した農林業の推進	農政課	5
62	水田航空防除事業	水稻の病害虫防除を航空防除事業によって、広域的かつ効率的に推進し農業生産の安定、向上に資する。	106 政策的事業	水田航空防除実施農家数	人	2,163	2,071	1,982	市単独	2,712	2,712	2,712	01 安定した農林業の推進	農政課	9
63	新規需要米流通助成事業	流通経費への助成を実施することで、水田農業所得の確保、集落営農の安定化、飼料費削減による畜産振興等、地域農業の発展に寄与する。	106 政策的事業	飼料用米生産面積	ha	107	141	285	市単独	4,666	5,462	10,010	01 安定した農林業の推進	農政課	5
64	林業担い手育成強化対策事業	森林整備の担い手である森林組合の作業員の雇用条件の改善や福利厚生充実を図るため、事業者が負担する社会保険料の1/2以内を県・市が負担する補助事業 平成9年度から制度化された。関係市・町の負担割合については、森林面積割による。笠間市49% 桜川市34% 城里町17%	106 政策的事業	組合員の確保	人	390	396	400	県補助	132	172	64	01 安定した農林業の推進	農政課	3
65	土地改良区事業	旧友部町から継続で負担しているもので、公共用地とするための農業用ため池の埋め立てや都市下水道整備に伴い、水源補償のため設置した深井戸電気料金。また、土地改良事業運営協議会への人件費補助及び土地改良施設改修のための補助を行っている。	106 政策的事業	組織基盤強化	式	1	1	1	市単独	19,212	19,465	20,261	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	10
66	原発事故損害賠償請求事務	原発事故発生に伴い、自家消費農産物の簡易検査及び出荷前農産物の放射性物質モニタリング検査を行う。	106 政策的事業	損害賠償請求者	人	6	1	0	市単独	100	7	0	03 健康増進の生産・生活環境づくり	農政課	11
67	いばらきの森普及啓発事業	森林湖沼環境税活用事業の実績や効果及び森林・林業の重要性などを県民に対して広く情報発信し、県民協働による森林づくりを推進する。	106 政策的事業	地域住民(参加者)	人	1,000	750	750	県補助	251	251	250	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	12
68	森林機能緊急回復整備事業	森林機能緊急回復整備事業費補助を活用し間伐が必要とされる森林の整備を行うため、間伐の実施、作業道、林道の開設などを行い、森林の持つ公益的機能の回復と環境改善を図る。	106 政策的事業	整備面積	ha	24	23	29	県補助	12,786	15,925	16,640	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	2
69	身近なみどり整備推進事業	森林湖沼環境税を活用し水源の涵養、生活環境の保全及び自然景観の維持など多くの多面的機能を有する平地林及び里山林の保全を図り、地域住民にとって快適で豊かな森林環境づくりを推進する。	106 政策的事業	実施面積	ha	4	2	1	県補助	5,101	4,194	1,146	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	10
70	(H28から)アグリビジネス促進事業	笠間産農産品等を農業、商工、観光など多様な分野の事業者と連携し、新たな商品開発、販売促進などの事業を実践するとともに6次産業化などのアグリビジネスに取組み農業経営の発展を図る。	106 政策的事業			0	0	0		0	0	0	01 安定した農林業の推進	農政課	

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価		
				成果指標①	単位	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成25年度				平成26年度	平成27年度
71	遊休農地活用緊急対策事業	年々増加する遊休農地は、全国的にも問題となっており、笠間市においても農地全体の16%が遊休農地となっている。遊休農地対策として、解消に係る費用を直接支援することにより、農地の再生を図る。	106 政策的事業			0	0	0	市単独	4,153	6,187	3,144	04 耕作放棄地の抑制・解消	農政課	5
72	植樹祭事業(合併10周年記念事業)	合併10周年記念事業として、笠間市総合公園で「植樹祭」を実施する。	106 政策的事業	記念樹	本	0	0	60	市単独	0	0	712	02 自然と共生による農林業の展開	農政課	5
73	地域産品消費促進事業	アグリビジネス専門監により、ブランド化や6次産業化の取組みなど積極的に推進し、地域農業及び産業の発展を図る。	106 政策的事業	6次産業化への取組み者数	件	0	61	61		0	0	3,678	01 安定した農林業の推進	農政課	2
74	(廃止)笠間の栗元気アップキャンペーン事業	笠間の栗を更にPRするため、栗の週間を定め、その期間、市内食品関係事業者などで笠間の栗を提供することで、知名度の向上と笠間市全体のイメージアップを図るとともに地域産業の発展に寄与する。	106 政策的事業			0	0	0	市単独	0	0	0	01 安定した農林業の推進	農政課	
75	農業委員会広報事業	広報誌の発行により農業委員会への理解を深め地域農業との連携を図る。	106 政策的事業	全世帯	世帯	26,000	26,000	0	市単独	786	658	397	01 安定した農林業の推進	農業委員会事務局	
76	農業委員会活動事業	遊休農地の解消に向けPR活動を行い、認定農業者、農業生産法人等への農地の集積を行い耕作放棄地の解消を行う。また、新規就農者へ農地等の斡旋を行い農業の活性化につなげたい。	106 政策的事業	耕作放棄地解消面積	ha	4	0	0	市単独	161	180	203	04 耕作放棄地の抑制・解消	農業委員会事務局	
77	ふるさと名物商品事業(緊急)(繰越)	本市の農産品をはじめとするふるさと名物商品をインターネット販売サイトやカタログにおいて3割引で販売し、消費の喚起・拡大や知名度の向上を図る。	106 政策的事業	特産品購入者	件	0	0	1,788	国補助	0	0	6,000	01 安定した農林業の推進	農政課	6
78	地場産農産物PR事業	「笠間ブランド」の確立や「地産地消」など、本市の特性・優位性を活かした農業の振興を積極的に推進するため、ブランド農産品の推進や地場農産物の広報宣伝活動を実施する。	106 政策的事業	メニュー提供数	食	0	0	10,093		0	6,635	2,985	01 安定した農林業の推進	農政課	1

シート1 施策内事務事業目的直結度評価

施策名 農林業



- 義務的事業, 内部事務事業
- 農業災害調査事業
 - 農地法事務
 - 農業者年金事業
 - 農業経営基盤強化促進法事務
 - 農業委員会委員選挙人名簿調整事務
 - 農家台帳管理事務
 - 遊休農地対策事業
 - 農地に係る贈与及び相続税の納税猶予の適用事務
 - 茨城県農業会議参画事業
 - 畜産業推進事業
 - 農業用集落排水事業特別会計繰出事業

シート2 施策内事務事業貢献度評価

施策名 農林業

施策の目的に対する事務事業の目的の直結度

- 非常に高い 1
- 高い 2 3
- 中 4 5 6
- 低い 7 8 9

1	2	4
地場産農産物PR事業 農業政策推進事業 地場産農産物PR事業(緊急)(繰越)	笠間市農産物ブランド化推進運営事業 森林機能緊急回復整備事業 主要農産物総合支援事業 地域産品消費促進事業	地場農産物振興拡大事業 農山漁村活性化プロジェクト交付金事業(大古山地区)
3	5	7
水田農業推進事業 笠間市人・農地プラン策定事業 林業担い手育成強化対策事業 震災対策農業水利施設整備事業	土づくり運動推進事業 新規需要米流通助成事業 担い手対策強化促進事業 遊休農地活用緊急対策事業 経営体育成基盤整備事業(箱田中央地区) 農村振興総合整備事業(友部地区) 経営体育成基盤整備事業(滝川地区) 県営畑地帯総合整備事業(小原地区) いばらきの園芸産地改革支援事業 農産振興条件整備支援事業 植樹祭(合併10周年記念事業)	環境保全型農業直接支援対策事業 食と農のチャレンジ事業 農地集積協力事業 経営体育成基盤整備事業(友部地区) 農業公社運営事業
6	8	10
笠間市飼料稲利用組合運営事務 県単土地改良事業(農道) 新規就農総合支援事業 農業委員会広報事業 農道維持管理事業 多面的機能支払交付金事業 鳥獣被害防止総合支援事業 ふるさと名物商品事業(緊急)(繰越)	土地改良推進事業 市単土地改良事業 主要農産物生産振興支援事業 農業競争力強化基盤整備事業(北川根地区) 農山漁村地域整備交付金事業(市原地区) 農地災害復旧事業 農業競争力強化基盤整備事業(北川根地区)(TPP関連) 農山漁村地域整備交付金事業(市原地区)(TPP関連)	中山間地域等直接支払事業 土地改良区事業 農業経営基盤強化資金利子助成事業 身近なみどり整備推進事業 林道維持管理事業 林業振興事業 県単林道改良工事(今泉吾国線林道) 市単林道改良事業(金谷小池線) 市単林道改良事業(朝霜線) 林業専用整備モデル事業(岡の宿八田線)(繰越)
9	11	12
農業委員会活動事業 水田航空防除事業 認定農業者育成推進資金利子助成事業 農業近代化資金利子助成事業 農業委員研修事業	系統農業災害資金(降雹等)利子助成事業 笠間市酪農連絡協議会運営事務 原発事故損害賠償請求事務	使用済農業用プラスチック適正処理対策事業 石岡台地用水事業 いばらきの森普及啓発事業 霞ヶ浦用水事業(経常) 霞ヶ浦用水事業(臨時) 霞ヶ浦用水事業(臨時)(TPP関連)

成果は高い (上位)
成果はやや高い (中位)
成果は普通 (中位)
成果は低い、ほとんど出ていない 若しくは把握できない(下位)

事務事業の成果

事務事業の休廃止検討エリア

義務的的事业, 内部事務事業

- 農業災害調査事業
- 農地法事務
- 農業者年金事業
- 農業経営基盤強化促進法事務
- 農業委員会委員選挙人名簿調整事務
- 農家台帳管理事務
- 遊休農地対策事業
- 農地に係る贈与及び相続税の納税猶予の適用事務
- 茨城県農業会議参画事業
- 畜産業推進事業
- 農業用集落排水事業特別会計繰出事業

事務事業の成果基準の説明